

### 環境調査結果のお知らせ

令和2年6月24日午前から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

漁場環境は、水温が22.0～24.6℃、塩分が31.3～34.1、溶存酸素量が6.7～7.7mg/Lでした。  
透明度は2.5～9.0mで、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で140 cells/mL確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

水温は22.0～24.6℃、塩分は31.3～34.1でした。  
前回調査時(R2.6.12)と比較して、水温は表層で0.1℃低下し、2m層から底層で0.4～0.5℃上昇しました。塩分は表層で1.4上昇し、2m層から底層で0.3～1.0低下しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.7～7.7mg/Lでした。  
前回調査と比較して、表層から10m層で0.5～0.9mg/L増加し、底層で0.2mg/L減少しました。

#### プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は2.5～9.0mでした。  
検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で140 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

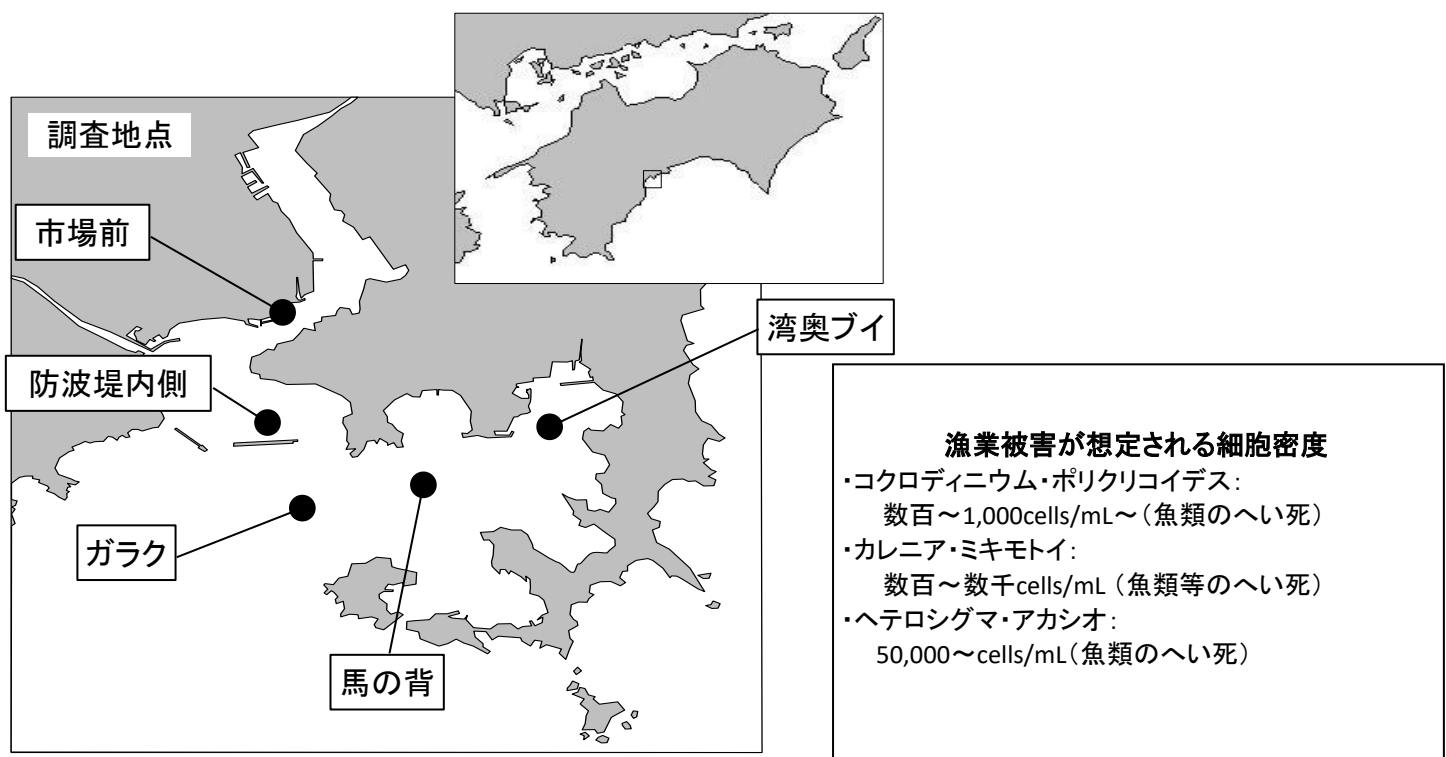


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.6.12)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	24.6	24.5	24.2	<b>24.4</b>	24.5	▲ 0.1	24.7	24.9
2m	24.3	24.4	23.8	<b>24.1</b>	23.6	0.5	24.7	24.4
5m	23.8	23.7	23.5	<b>23.7</b>	23.2	0.5	23.5	23.7
10m	22.8	23.1	23.0	<b>23.0</b>	22.6	0.4	22.9	-
B-1m	22.0	22.0	22.7	<b>22.2</b>	21.7	0.5	22.6	22.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.6.12)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	31.3	31.9	31.8	<b>31.6</b>	30.2	1.4	29.3	28.8
2m	31.6	32.0	32.3	<b>32.0</b>	32.6	▲ 0.6	29.3	30.5
5m	32.1	32.8	32.7	<b>32.6</b>	33.6	▲ 1.0	32.4	32.1
10m	33.3	33.2	33.6	<b>33.4</b>	33.9	▲ 0.5	33.3	-
B-1m	34.1	34.1	33.8	<b>34.0</b>	34.3	▲ 0.3	33.5	33.9

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.6.12)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	7.7	7.5	7.6	<b>7.6</b>	7.1	0.5	8.5	8.4
2m	7.7	7.6	7.3	<b>7.5</b>	6.9	0.6	8.5	8.3
5m	7.6	7.7	7.2	<b>7.5</b>	6.6	0.9	7.8	7.7
10m	7.2	7.4	7.5	<b>7.4</b>	6.8	0.6	7.1	-
B-1m	6.7	6.8	7.3	<b>7.0</b>	7.2	▲ 0.2	6.9	6.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.1	25.0	15.5	12.2	11.0
透明度	5.5	9.0	7.5	3.0	2.5
前回(6/12)	4.5	4.0	5.0	2.5	2.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		クロロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	110
	2m	0	0	0	250
	5m	0	0	0	200
馬の背	0m	0	0	0	140
	2m	0	0	0	270
	5m	0	0	0	210
ガラク	0m	0	0	40	240
	2m	0	0	0	160
	5m	0	0	0	180
津波防波堤内側	0m	0	0	0	520
	2m	0	0	20	500
	5m	0	0	0	200
市場前	0m	0	0	130	1,150
	2m	0	0	140	580
	5m	0	0	0	280